

オンライン化の成果・課題



オンライン化による企業・学生の成果や今後の課題は？

費用削減の一方、双方の魅力伝達などに課題

次に、オンライン化の成果と課題について、企業・学生双方の視点から見ていく。

まず、企業に採用活動のWeb化による成果を聞いたところ、最も多かったのは、「採用活動費用の削減」で66.4％（グラフ①）。次に、「これまで接点の取れなかった学生層からの応募」(66.0％)、「応募者の増加」(54.0％)が続いた。

Web化対応における課題として最も多かったのは、「自社の魅力の伝達」で57.3％（グラフ②）。次に、「ノウハウ」(54.8％)、「社内の環境・設備」(51.9％)が続いた。ただし、「ノウハウ」「設備」を挙げた企業の割合は前年に比べるとどちらも10ポイント近く減少。「面接での学生評価」も同様に減少した。増加したのは、「自社の魅力の伝達」や「学生の動機づけ」で、「予算」「社内の理解・承諾」も増加した。

学生においては、孤立という課題が見られる。就職活動

についての周囲とのコミュニケーションでどのような不安があったか聞いたところ、約半数にあたる48.4％の学生が「就職活動中の他の学生との接点が少ない・ない」と回答した（P15・グラフ③）。「社会人」「志望企業の内定者」「サークル・ゼミの先輩」などとの接点の少なさ・なさを感じている学生も2～3割いた。

成果としては、活動費用の減少が挙げられる。就職活動でかかった平均金額は、7万2,034円で2年連続減少（P15・表④）。内訳を見ると、交通費1万7,420円（前年卒差－8,147円）、宿泊費1万3,313円（同－9,154円）の順で減少額が大きく（P15・表⑤）、特に交通費は2020年卒に比べ約65％減少した。

このように、オンライン化によって学生・企業とも移動時間や費用が減少し、出会いのプロセスが効率化された。一方で、職場の雰囲気や学生の人柄などの伝達・理解には課題が見える。

オンラインは金銭、対面は実態把握に優位

● イベント企画会社内定・理系学部4年

学部で学んだ建築・空間デザインの知識を活かすことができ、かつ事業全体の動きが見える規模の会社で働くことを重視して企業を探しました。学部主催のオンライン合説や就職情報サイト、大学の就職課にある先輩の就職活動報告書などを見て興味を持った企業についてホームページや個別説明会で情報収集し、7社に応募。最も魅力に感じていた今の内定先から5月に内定を得たので、他社の選考は辞退し、就活を終えました。

オンラインで選考を行う企業がほとんどだったので、金銭面ですごく助かりました。ただ、3月半ばから4月末くらいまではどの企業も同じようなスケジュールで個別説明会や面接が進んでいくので、対面の選考のために移動中の新幹線の中でWeb説明会を視聴することもありました。

また、Web面接に比べて対面での面接の方が話しやすくて引き込まれる感覚があり、相手の雰囲気もよく分かったので、内定先のようにWebと対面から選べるときは、感染状況を見ながらもできるだけ対面を選択していました。

Webでも社員や職場の雰囲気が分かる映像を見たい

● 銀行内定・法学部4年

法学部で民法のゼミに所属しています。できるだけ4年間の学びと関係のある仕事をしたいと思い、インターンシップの段階から金融業界に目を向けていました。採用選考は、金融業界を中心に35社に応募、4社から内定を得て、働き方や仕事内容が自分により合っていると感じた今の内定先に決めました。

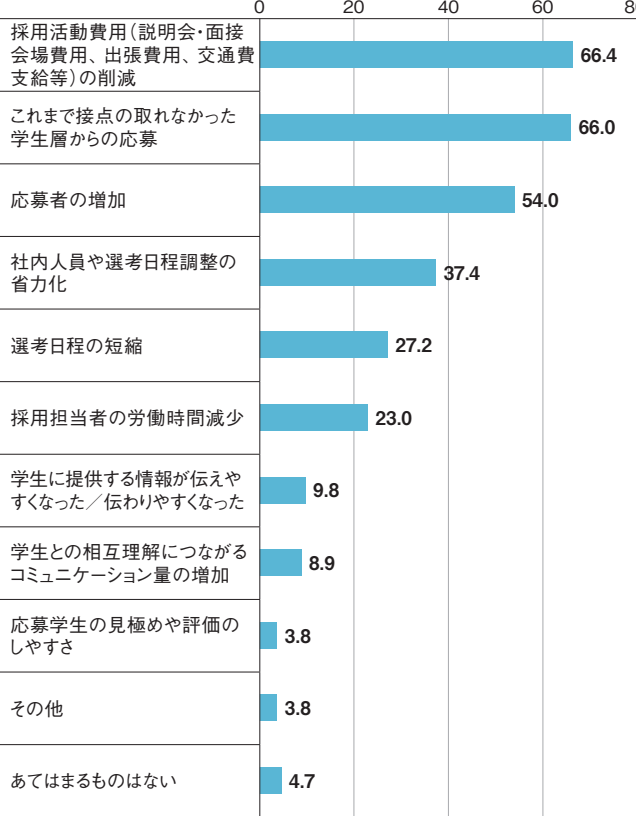
金融各社の説明会・選考はオンラインで、他業種で一部対面を経験しましたが、社員や職場を生で見て感じる雰囲気は、オンラインでは得られないものだと思います。内定先での働き方は今もよく分かっておらず、入社後、オンラインでは知り得なかったことを知ってがっかりする可能性はあります。でも、第一志望群の企業に入社できるという点で就活には100％満足しています。

Web説明会は、ぜひオンデマンド映像を用意してほしいと思います。ライブだと枠が埋まって見られないことがありますが、オンデマンドなら繰り返し見て、面接で話す内容のヒントを探ることができました。また、社員のインタビュー動画をたくさん掲載してくれる企業は、先輩訪問をしている感覚になれてよかったです。

企業 Web化により、費用削減や新たな学生との出会いなどの成果あり

① 採用活動のWeb化による成果

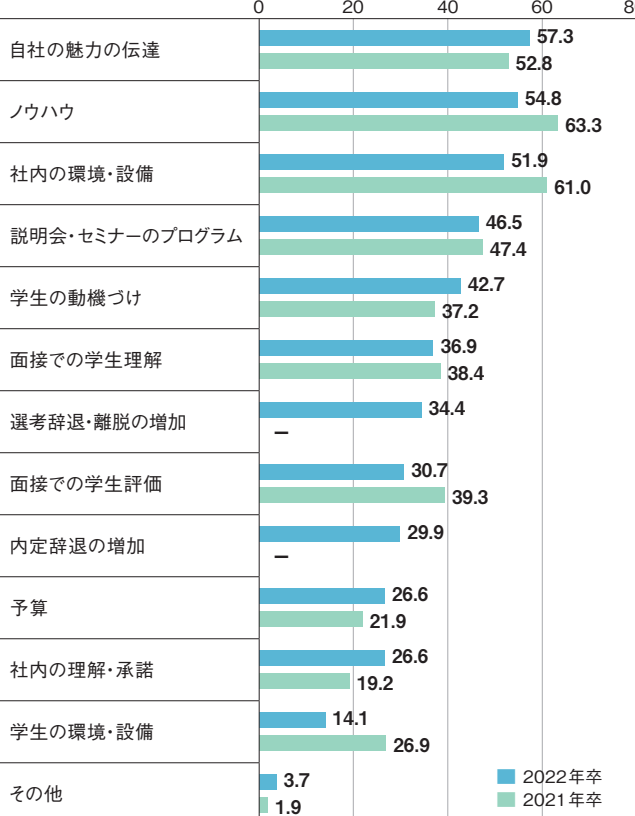
※新卒採用における課題で「採用プロセスのWeb化（オンライン）への対応」回答企業／複数回答



企業 課題は自社の魅力の伝達、学生の動機づけなど

② Web化（オンライン）対応における課題

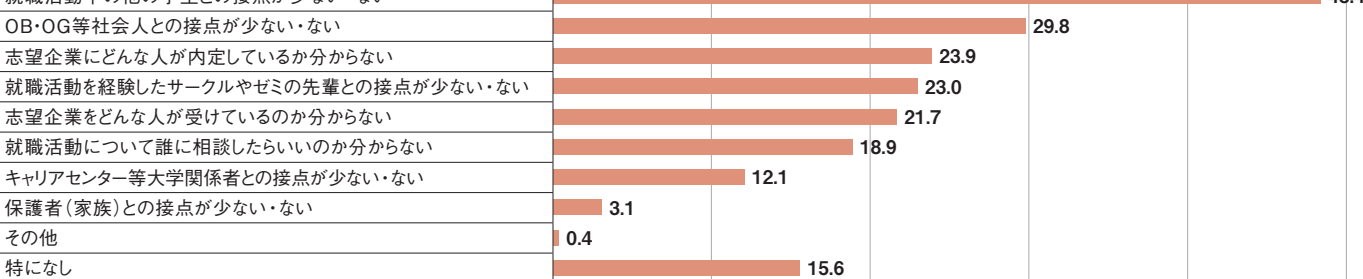
※新卒採用における課題で「採用プロセスのWeb化（オンライン）への対応」回答企業／複数回答



学生 約半数が、他の就職活動生との接点の少なさに不安を抱いた

③ 就職活動についての周囲とのコミュニケーション不安

※学生全体／複数回答



学生 就職活動費用は2年連続減少。交通費は2020年卒に比べ約65%ダウン

④ 就職活動全体にかかった平均金額

※大学生全体 就職志望者のうち就職活動に「1円」以上使用した学生／実数回答

	① 2022年卒 (2021年 6月12日時点)	② 2021年卒 (2020年 6月12日時点)	2020年卒 (2019年 7月1日時点)	差 ①－②
全国	72,034	88,923	128,890	－16,889
地域別				
北海道・東北	92,245	94,468	140,861	－2,223
関東	65,193	81,833	117,374	－16,640
中部	76,508	83,776	132,900	－7,268
近畿	62,579	97,263	131,201	－34,684
中国・四国	101,491	116,654	139,967	－15,163
九州	78,368	92,717	156,989	－14,349

⑤ 就職活動費用の内訳

※大学生全体 就職志望者のうち就職活動に「1円」以上使用した学生／実数回答

※平均金額の集計対象：各項目で「1円」以上を使用した学生／実数回答

※使用率：「1円」以上を使用した学生／それぞれ単一回答

※()内の数値は、平均金額の差(2022年卒－2021年卒)

	交通費	被服費	宿泊費	飲食費	書籍費	公務員試験 対策費	スキルアップ 費用
平均金額	17,4200	31,462	13,313	6,104	5,193	116,455	21,806
(対前年差)	(－8,147)	(－2,898)	(－9,154)	(－852)	(280)	(23,251)	(4,408)
使用率	85.3%	81.7%	8.3%	46.7%	58.4%	10.2%	22.9%

出典 ④⑤：2022年卒 就職プロセス調査

※項目ごとの平均額のため、各項目の合計は総額とは一致しない